

# 小学校 6年

## 中心人物とはちがう視点から本を読んでみよう

高槻市立北大冠小学校

教科

国語

単元名

帰り道

### 単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

・読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づく。  
・複数の本を活用して、多面的に考える。

本単元で育む主な情報活用能力

F-STEP3, G-STEP3

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



### 単元における学習の展開 (全6時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	・物語の設定をおさえ、感想を書く。
第2次 (4時間)	・学校図書館の本を読み、中心人物以外の心情をまとめる。(☆) (本時) ・「視点」による心情の違いや共通点をまとめる。 ・二人の人物像を考える。 ・心情変化のきっかけを考え、話し合う。
第3次 (1時間)	・帰り道の構成、内容や表現に着目して自分の考えを書く。

### 本時のねらい

・図書館の本を読み、中心人物以外の心情を自分なりにまとめてみよう。

### 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	<b>1. 前時までの学習をふりかえる。</b> ・「帰り道」は律と周也の2視点で書かれた物語であることを押さえる。	・例として昔話を挙げ、活動のイメージを持たせる。
展開 (35分)	<b>2. 本を選ぶ。</b> ・中心人物以外の視点から物語を捉えることができる本を選ぶ。  <b>3. 中心人物以外の人物の心情をまとめる。</b> ・中心人物から見た視点、中心人物以外から見た視点から心情をまとめる。 ・グループ交流 ・友だちの考えを聞き、再度心情をまとめる。 ・全体交流	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     昔話や教科書で習ったことのある物語や2視点で書かれている絵本を用意しておく。                 </div> ・あらずじにならないように場面での心情を考えるように押さえておく。 ・なぜその心情になったのか、場面の絵や言葉を示しながら交流するように促す。
まとめ (5分)	<b>4. ふりかえりをする。</b> ・「帰り道」と比べて気付いたこと、わかったことなどを書く。	

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・2視点で書かれた物語は、登場人物の性格が表れやすく、人物像をとらえやすい。  
学校図書館を活用し、2視点に分かれていない本と比較することで、児童はそのことに気づくことができた。  
本時の活動は、読んだことのある昔話や既習の物語で活動に取り組むことによって、別の視点で読み取るための人物を見つけやすく、意欲的に取り組んでいた。  
・児童は2視点で書かれていない絵本などの文章を別の視点から登場人物の心情などを読み取ることの難しさを体感することで、「帰り道は2視点で書かれていて律と周也の心情がわかりやすい。」「次から律や周也の視点で読み取ってみよう」と、次の時間への学習意欲を高めていた。



授業で使った本の例：「うさぎとかめ」「かちかちやま」「いっすんぼうし」「ももたろう」  
「ええところ」くすのき しげのり作 ふるしようようこ絵 学研プラス  
「スイミー」レオ・レオニ作 谷川俊太郎訳 好学社

中心人物以外の視点から物語の内容や人物の気持ちなどを伝え合いました。